

Statio

with style

手前から順に:1946年に大ヒットを記録したロングセラー「クラシック・ステープラー」の存在感は、もはやツールではなくマシンと呼ぶにふさわしい。¥10,290、片手でテープが切れる「ワンハンド・テープ・ディスプレインサー」は、まさに究極のディスプレインサーといえる。¥10,290、「レターホルダー」のフォルムはローマのコロッセウムをイメージ。自信が重く安定感がある。¥6,990、すべてコレックス ☎03-5459-6378 www.collex.jp



Folle フォルレ

1933年、機械エンジニアのフォルマー・クリステンセンがコペンハーゲンで創業。70年代以降、息子のキヨルが新しいアイテムをデザイン。ステンレスを使ったステーションナリーブランドとして名を馳せる。 www.folle.dk

北欧ステールシヨナリーの、静かな存在感。

ステンレスを用いた北欧らしいミニマム・デザインこそ、ドイツやフランスの文房具とは一味異なる、デンマークらしいデザイン文房具だ。



シヨップカードなどを立てかけておく「カードホルダー」¥2,730/コレックス 電話03-5459-6378 www.collex.jp



中央部が少し盛り上がりついている「ルーラー」は、目盛りの数字が遠くからでも見やすい。¥3,990/コレックス



「レターオープナー」は、フォレのベストセラー。91年、フランクフルトの見本市で大賞を受賞。¥2,940/コレックス



キョルがデザイナーのヘニング・アンドレアセンと共同製作した「ペンシルカップ」¥8,090/コレックス



「ブックエンド」の半円形は、ローマのコロセウムをイメージ。S ¥2,100、M ¥2,520、L ¥3,570/コレックス



ペンシルカップと同じく、キョルとヘニング・アンドレアセンによる「クリップアップ」¥5,040/コレックス



「24/26 ステーパー」は、MoMAのパーマネントコレクションにも選ばれている。¥10,290/コレックス



シンプルイズ・ベストの「ペンシルトレイ」は、まさに無敵な耐汚落としたデザインだ。¥5,040/コレックス

旅先で立ち寄ったコペンハーゲン、文房具店で、デンマーク製の清潔なステールシヨナリーを土産に買おうとしても、苦労するのではない。ほとんどの棚は、ドイツやフランスといった大国のアイテムに占領されているからだ。とはいえ、諦めるのは早い。ヤコブセンやケアホルムを輩出した北欧のデザイン国には、デザイン・コンシヤスな文房具「フォレ」がある。

ステンレスを素材にした、ミニマムで深いデザイン

ステーパー、テープカッター、ブックエンド、レターオープナー、ペンシルトレイ……銀色に鈍く光るステンレスを素材にした、ミニマムで深いデザインの数々。フォレが手がけるステールシヨナリーは、濃した佇まいで、その機能を静かに主張する。

フォレは、1933年、機械エンジニア、フォルム・クリステンセンが、コペンハーゲンに設立した会社だ。

46年「クラシック・ステーパー」を発表。シンプルなフォルムと優れた耐久性は、「インターストリアル・スタンダード」と呼ばれて評判になり、「50年代のデンマークのほとんどの職場や家庭にあった」と言われるほどのヒット商品になった。発売60年後の現在でも生産が続けられているほど、息の長いロングセラーだ。

ステーパー」だけを作り続けていたフォレが劇的に変わったのは、70年代だった。創業者フォルム・クリステンセンから息子のフォルム・キョル・クリステンセンの代になり、キョルは次々と新しいアイテムをデザインするようになった。デザイナー、ヘニング・アンドレアセンに依頼した「24/26 ステーパー」は、傑作の誉れ高く、MoMAのパーマネントコレクションにも選ばれた結果だ。

フォレのコンセプトは明快だ。実用的であり、細部のディテールにも手を抜かず、一番よい素材（ステンレス）を用いて、耐久性に優れていること。たとえば、「ワンハンド・テープデザイナー」は、その名の通り、片手でテープが切れるデザイン。重さ1・2kgの安定感は、高さど重さの絶妙なバランスの上で成り立っている。普通の「ゲイムペン」は、あまりにも異なるフォルムに到達するまでの、キョルの探求心には、脱帽するほかない。

昨年、キョルは60歳になったため、引退を決意。知人のブリック・ス・デザイン社の代表取締役クリステンヤン・ブリック・ハンセンが、フォレを売却した。しかし、ブリック・ス・デザイン社は、今後フォレのコンセプトに沿って、若手デザイナーを起用したデザイン・プロダクトを作っていく方針だ。フォレの精神は、これからますます受け継がれていく。